

新入社員研修

9月5,6日



視察の合間に、和やかな写真も
左から、荒木さん・徳岡さん・池上さん

<参加者> 荒木さん(すし辰三次店)・徳岡さん(すし辰可部店)・池上さん(すし鮮具店)
<引率者> 森清部長・西田龍一さん

平成 28 年度、29 年度の新入社員 3 名が、大阪の繁盛店を巡る研修に参加しました。繁盛店を巡り、感じたこと・考えたことがたくさんあったと思います。レポートより研修の様子を紹介いたします。

●行きの車中にて

ただのグルメツアーにならないよう、行きの車内では自社の強み弱みの分析や、他社との比較などを日創研の課題をもとに行い、脳みそでカロリーを消費することで、この後に始まる飲食店視察に備え、空腹態勢を整えました。しかし、あまりに脳みそを酷使しすぎたせいか、池上さんと徳岡さんは、ほぼ瀕死状態、白目を剥いて自社の強みを考えてくれました。

車内でのディスカッション中、私が一番驚いたのは荒木さん、徳岡さん、池上さんの3人とも『郊外』という言葉を知らなかったことでした。私が「うちの来店地は郊外ロードサイドの…」と言ったところで「郊外ってなんすか?」と問われ衝撃を受けました。しかし考えてみると、みんな庄原や三次の出身、郊外なんていう概念の存在しない土地から出てきたばかりの田舎者。無理からぬことと思いました。庄原に郊外も繁華街もありません。庄原にあるのは『山』と『畑』と『それ以外』なのですから。そんなこんなで車内勉強会を終え、大阪に到着。
【西田龍一】

●大阪繁盛店巡りにて

『大起水産』へ行きお寿司を食べました。このお店で印象に残っているのはとても大きな生簀が設置されていたこと、レーン内で仕込みやお汁ものをさわたり、オーダー品の大体をレーン内でこなされていたことです。この店舗の横には直売所がありそこにはアマガサやアノコウ、ハバアという変わった魚が沢山置かれていました。
【徳岡】

串カツ『だるま』に入店し、まず入って驚いたのはスタッフが(私が確認した方は)全員外国の方だったこと。変わった雰囲気を感じることができました。オーダーを通すとき外国の方だったので、流暢な日本語で対応してくださいました。そして串カツが来ました。串カツの食べ方がソースだけでなく塩なども置いてあり、その串にあった調味料が使えるので、最後まで食べ方に困ることがなかったです。
【荒木】

お寿司の『じねん』。回らない寿司屋さんで、完全オーダー制です。商品を注文して届くまでの時間森清部長や龍一さんが色々な方の伝説や勉強になる話をしてくださり、商品が来るまで楽しく過ごせました。そして頼んだお寿司などがテーブルに並びます。お寿司は全部一皿ずつで、じゃんけんした上位2名だけが食べられ、そして食べた人は食べられなかった人に味の感想を発表するというルールがありました。私の勝率は五分五分で、芽ねぎの握りや炙り中トロなどじゃんけん勝ち食べることができました。感想を言うにもたまた美味しかったなど単純な答えではダメなので、普段食べているときよりも味に意識を集中させていました。そして食べられなかったときは食べた人の感想をもとに味を想像し食べた気分を味わいました。
【荒木】

僕からの要望を森清部長、龍一さんが聞いてくださり、『ICE MONSTER』というかき氷の専門店に行きました。値段は少し高めですが、ボリュームやアイスが乗っていること、タピオカがついていたり、人気な理由が分かった気がしました。荒木さん、池上さんとはも平そうにしていましたが、甘いもの好きの僕はとても幸せを感じました。
【徳岡】

今回の研修を通して一番印象に残っているのは、『大起水産』のお寿司です。お客さんがみえるところで、魚をおろしたり、ネタに切ったりしているのがすごいことだし、何より自分たちに新鮮なネタということがはっきり伝わっているのがすごくいいことだと思います。次に、どこの寿司屋さんに行っても、いろんな種類があって、外国人も楽しめるという事が一番のオススメなんだと思いました。自分たちもレーンのピーク時で、流している寿司をどう変えていくかで、お客様がまた食べたいや、次は何を食べようか考えていることが楽しくなるような寿司を出していきたいです。
【池上】



繁盛店巡りの最後は、焼肉『空』にて食事

●引率された森清部長より

今まで新入社員研修では一年間座学を中心としておこなってきましたが、今年は新入社員も1名となり、また昨年度の2年生も頑張ってくれています。そこで、現場から離れた他社の取り組みを見て回る店舗視察をおこない、知識を深める(盛り付け・味)・繁盛店を見ることで、なぜお客様が来店されるのかを体験し、自身のモチベーションの向上につなげる。また日々現場で頑張ってくれている若手の意見も聞きながら、龍一さんや私も現場の活性化につなげていくことが今回の研修の目的でした。

リレーメッセージ

鮮コーポレーションの経営理念が一番基本になっている言葉は「VIVID…活き活き」です。「わたしのVIVID」というテーマのメッセージをリレー形式で掲載します。今回は、船川さんの登場です。

「わたしのVIVID」

すし鮮具店 船川 雅広

私と鮮コーポレーションとの出会いは、2009年5月。新卒者の企業合同説明会の会場でした。学生時代、アルバイトでスパーに勤めていたので、就職してからも接客の仕事がしたいと思っていました。

2010年4月1日。『ゴールド・テイズ・テン』2人が入社しました。配属は、同じ新入社員の吉井さんと一緒にすし辰緑井本店になりました。緑井本店での2年間は、働くという厳しさを教えて頂きました。接客は好きだけど人見知り。新しい環境。やるべきこと。成長しない自分。当時を振り返ると、なんで自分はこんなこともできないんだろうと悩んでいました。正直、自分はどうだめだと何度も思っていました。それでも頑張れたのは、パート、アルバイトスタッフさんの気遣いと、何より同期メンバー

がいてくれたおかげだと思っています。不思議なように、勤めて8年たちますが、ほとんど同期メンバーと同じ店舗で仕事をしています、この記事を書きながら思いました。それほど同期メンバーが自分の支えになっているんだと気づきました。そして、入社して4年目になるころ、可部店に異動になり、その時も人見知りでありました。可部店に異動になってからは、当時の可部店スタッフさんとの絆が思い出され、自分を知らなくてもうらさからもう一度頑張ってみようと思えました。今でこそ、社員の方たちは知っていると思えますが、自分はたまたまのオタクです! アニメキャラとかのフィギュアをショップに買ったりして楽しむのが大好きです!!(笑) それ以前からも趣味の事は話していたのですが、今まで以上に皆に自分を知らってもらうように話をしました。そうすると、自然と自分の気持ちも軽くなり店舗で笑顔が出るようになりました。そして、入社してから5年目になる前に、決起大会の実行委員と決起大会での演目参加の話が来ました。まさか4年連続、演目の参加をするとは思っていませんが、それが今に思えば、これも自分が知らなかったり、本番まで頑張るのはやっぱり楽しいです。自分の「VIVID」。それは仕事だけではなく、自

分の大好きな趣味も一緒に楽しむこと。そして、皆を楽しくさせることです。趣味を楽しむために、仕事も頑張れる。仕事も頑張れるから、そのあとの趣味も楽しめる。私が言えることではないですが、皆さんも何か一つ「これが大好き」と言える事を見つけてもらえたら素晴らしい事だと思います。入社8年が過ぎ、こんな私も今年30歳になります。正直、営業面では何も取り柄がないですが、それでも鮮コーポレーションでこれからはやってみようと思えるのは、西田龍一さんのおかげです。私と同じ年としては果てしない事ですが、それでも龍一さんの前向きな頑張り、これからの龍一さんが描く鮮コーポレーションを自分の小さな力で役立つようにしたい。入社当時、自分が同期メンバーや周りのスタッフさんたちに助けを頂いたので、少しでも力になれるならと思います。本当にありがとうございます。本日に自分のできることは小さなことですが、皆さんの力に頼っています。お返しができるようなことができるようにこれからもがんばっていきます。

※2010年に入社した10名の総称



To be continued

第2回 わくわくセミナー 9月21日

<参加者>
早川さん・中村さん(すし辰可部店)
伊藤さん・久保さん(すし鮮具店)
先森さん・山崎さん・菅原さん・河野さん(すし辰緑井本店)
渡邊さん・岡田さん(すし辰めたくン 甘日市店)
重藤さん(すし鮮西条店) 越道さん(西田鮮魚店)
荒木さん・佐々木さん(本部)

仕事だけでなく家庭生活にも役立つ研修、『わくわくセミナー』(全3回の2回目)に14名の女性パートスタッフが参加しました。今回は、男性と女性の考え方・捉え方の違いについて学び、男女間のコミュニケーションをスムーズにするためのポイントを教えていただきました。男性と女性の考え方が違うよ!ということが分かってよかったです。今まで、言い方が悪いのかな?と思っていたことは、考え方が違うからなんです。納得しました。
【荒木】

男性に対して何となくという表現ではダメだということが分かったので、出来るだけ具体的に物事を言えるよう努力していきたいです。
【山崎】



時には笑いありで、あっという間の2時間でした

voice お客様の声

8月末から 9月到着分 社長へのハガキから



●すし鮮 西条店
この日は、孫と娘夫婦達と少し早い敬老の日の食事と連れて行くつもり(1日馳走になりました)。何かあると父・母の日、誕生日、記念日とかに立ち寄りた。家族みんなでお祝いした。魚をたくさん食べて、家飲みも楽しめました。フタツツのありがた(ご褒美)をいただきました。フタツツの方のサーブ、お手拭きのタオルも途中で出してくらいい、ありがたかったです。気持ち良かったので!!
【70代男性 異市内から来店】

●すし辰 緑井本店
今日はファミリア・フライデー!これで給料日!!という事ですし辰さんに行かせていただきました!!少し少したちましたが、待つ場所がイイが多くて設置されているので、外で待つということが多くなくて良かったです。いつも思うのですが、味が美味しいのに高すぎます。合計金額が「あれ?もっといいのと思ったに!」と思いましたが、味・値段・満足度、どれも良いですね。来月の給料日も月ごとと思えます。
【30代女性 広島市内から来店】

●すし辰 西条店
A)記念日の「ハレの食事の場」に当店へ選んで頂き、光栄に思えます。今後はお客様の記念日の食事に花を添えたいと思います。私達も日々、勉強していきたいです。またのご来店、スタッフ一同、心よりお待ちしております。
【70代男性 異市内から来店】

●すし辰 西条店
A)来店頂き、また当店の設備や商品構成へのお褒めの言葉、誠にありがとうございます。商品の鮮度や大きさ、誰が仕込んであげたのかわからない日や注意していただきます。今後お客様への期待に添えるような商品作り、満足して頂くように取り組んでいきます。次回も来店頂ける日々スタッフ一同、良い商品を提供しております。
【店長 難波】

10月の「図書コーナー」の感想より

●海のかたち ぼくの見え方 フラントン
海をのぞくは フラントンとよばれると、海をのぞくは フラントンの生き物と見え方。海をのぞくは フラントンの生き物と見え方。海をのぞくは フラントンの生き物と見え方。

●海にこんな小さな生き物がいいるなんてとてびっくりしました。しゃんもきれいでした。
【7才男の子三次店来店】

●三次店ご来店の方5才女の子が、お絵かきを楽しんでくれたようでした!